

目標：数学的活動を通して、事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現して考察するとともに、事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用する。【数学的な見方や考え方】

○新幹線に3列のシートの座席がある。

条件①1列に1人または2人で座る。条件②各列で、1人の時は列の中央に、2人の時は列の両端に座る。

条件③前(左)から詰めて座る。条件④人の並べ方は区別しない。条件⑤1人旅はなし。

今後、皆も経験するかもしれない、6人旅行の場合、座り方は何通りあると考えられるか。数え方にどのような方法が考えられるか。下の座席表を参考に使用してよい。

